

新エネルギー種類別導入目標の試算

1 太陽光発電の目標設定の推計

(1) 本県における導入実績による推計

① 導入実績

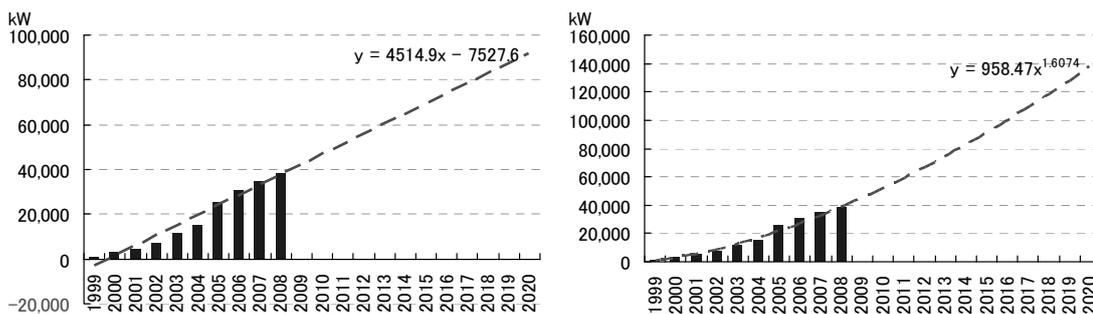
現行ビジョンの目標値である 75,000kW (2010 年度) に対して、2008 年度で 38,435kW の導入実績となっている。進捗率は 51.2%である。

② 一次近似曲線

太陽光発電について、県内における過去の導入実績から、2020 年度時点の導入量を一次近似曲線によって推計すると **9.2 万 kW** となる。

③ 累乗近似曲線

太陽光発電について、県内における過去の導入実績から、2020 年度時点の導入量を累乗近似曲線によって推計すると **13.8 万 kW** となる。



(2) 国の目標値の考え方に基づく推計

① 長期エネルギー需給の見通し (再計算) H21.8

「長期エネルギー需給の見通し (再計算) H21.8」によると、太陽光発電の導入目標値は、2020 年に国全体で 2,800 万 kW となっている。これを世帯数で三重県に按分すると、**36.1 万 kW** となる。

国の目標値	按分指標	按分比率	三重県
2,800 万 kW	世帯数	1.29%	36.1 万 kW

	国		県
世帯数	5,357 万	69.02 万	2020 年度

② 地球温暖化対策に係る中長期ロードマップの提案（環境大臣試案）

「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップの提案（環境大臣試案）H22.3」による、2020年に1990年比「国内マイナス25%」を実現する太陽光発電の導入目標値は、2020年に国全体で5,000万kWとなっている。これを事業所数及び世帯数を用いて三重県に按分すると、**68.6万kW**となる。

なお、「中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算（再計算）（国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム）H22.8」による、2020年に1990年比「国内マイナス25%」を実現する太陽光発電の導入目標値も上記と同値である。

	国の目標値	按分指標	按分比率	三重県
非住宅	2,560 万 kW	事業所数	1.45%	37.2 万 kW
住 宅	2,440 万 kW	世帯数	1.29%	31.4 万 kW
計	5,000 万 kW			68.6 万 kW

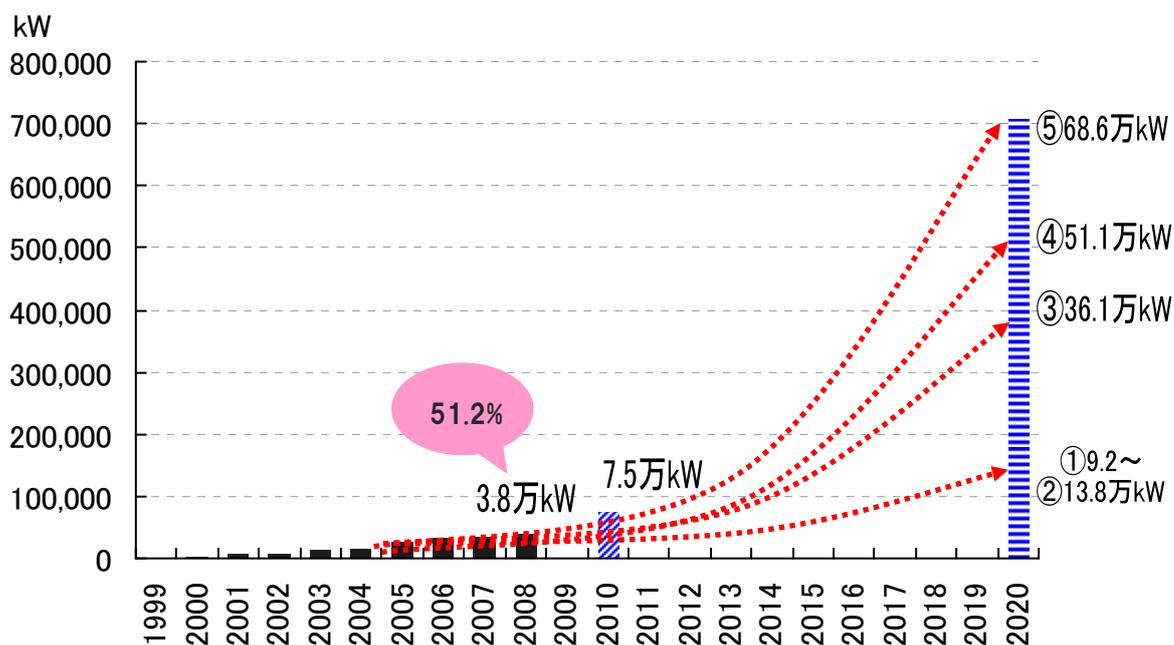
	国		県	
事業所数	5,911,038	85,865		2006 年度
世帯数	5,357 万	69.02 万		2020 年度

また、「中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算（再計算）（国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム）H22.8」によると、2020年に1990年比「国内マイナス15%」を実現する太陽光発電の導入目標値として、2020年に国全体で3,700万kWとなっている。これを事業所数及び世帯数で三重県に按分すると、**51.1万kW**となる。

	国の目標値	按分指標	按分比率	三重県
非住宅	2,080 万 kW	事業所数	1.45%	30.2 万 kW
住 宅	1,620 万 kW	世帯数	1.29%	20.9 万 kW
計	3,700 万 kW			51.1 万 kW

(3) まとめ

目標設定の推計方法	推計値
①導入実績(一次近似曲線)	9.2 万 kW
②導入実績(累乗近似曲線)	13.8 万 kW
③長期エネルギー需給の見通し(再計算)H21.8	36.1 万 kW
④中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算(再計算)(国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム)H22.8【国内▲15%】	51.1 万 kW
⑤地球温暖化対策に係る中長期ロードマップの提案(環境大臣試案)H22.3【国内▲25%】	68.6 万 kW



2 風力発電の目標設定の推計

(1) 本県における導入実績による推計

① 現時点の導入実績

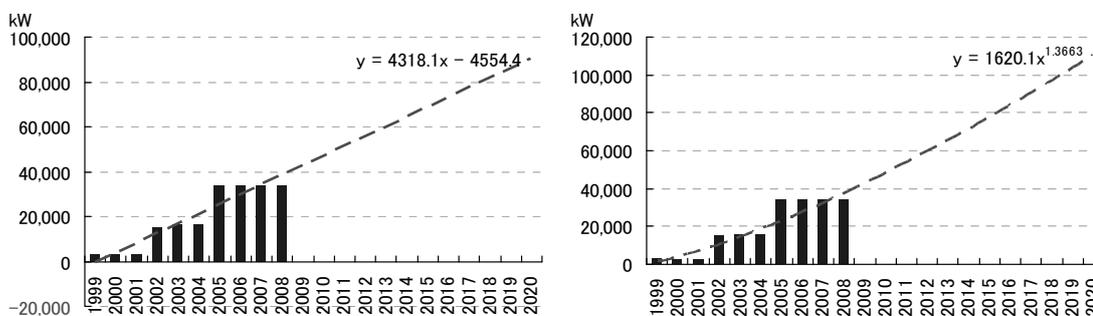
風力発電の導入実績は、現行ビジョンの目標値である 10.2 万 kW（2010 年度）に対して、2008 年度で 3.4 万 kW となっている。進捗率は 33.4%である。

② 一次近似曲線

風力発電について、県内における過去の導入実績から、2020 年度時点の導入量を一次近似曲線によって推計すると **9.0 万 kW** となる。

③ 累乗近似曲線

風力発電について、県内における過去の導入実績から、2020 年度時点の導入量を累乗近似曲線によって推計すると **11.1 万 kW** となる。



(2) 国の目標値の考え方に基づく推計

① 長期エネルギー需給の見通し（再計算）H21.8

「長期エネルギー需給の見通し（再計算）H21.8」によると、風力発電の導入目標値は、2020 年に国全体で 500 万 kW となっている。これを風速 5.5m/s 以上の面積で三重県に按分すると、**6.7 万 kW** となる。

国の目標値	按分指標	按分比率	三重県
500 万 kW	風速 5.5m/s 以上の面積	1.35%	6.7 万 kW

	国	県	備考
風速 5.5m/s 以上の面積	139,150km ²	1,873 km ²	平成 21 年度再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査(環境省)

② 地球温暖化対策に係る中長期ロードマップの提案（環境大臣試案）

「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップの提案（環境大臣試案）H22.3」によると、風力発電の導入目標値は、2020 年に国全体で 1,131 万 kW となっている。これを風速 5.5m/s 以上の面積で三重県に按分すると、**15.2 万 kW** となる。

また、「中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算（再計算）（国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム）H22.8」による、太陽光発電の導入目標値も、2020 年に国全体で同様の 1,131 万 kW となっている。

国の目標値	按分指標	按分比率	三重県
1,131 万 kW	風速 5.5m/s 以上の面積	1.35%	15.2 万 kW

	国	県	備考
風速 5.5m/s 以上の面積	139,150km ²	1,873 km ²	平成 21 年度再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査(環境省)

(3) まとめ

目標設定の推計方法	推計値
①導入実績(一次近似曲線)	9.0 万 kW
②導入実績(累乗近似曲線)	11.1 万 kW
③長期エネルギー需給の見通し(再計算)H21.8	6.7 万 kW
④中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算(再計算)(国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム)H22.8【国内▲15%】	15.2 万 kW
⑤地球温暖化対策に係る中長期ロードマップの提案(環境大臣試案)H22.3【国内▲25%】	

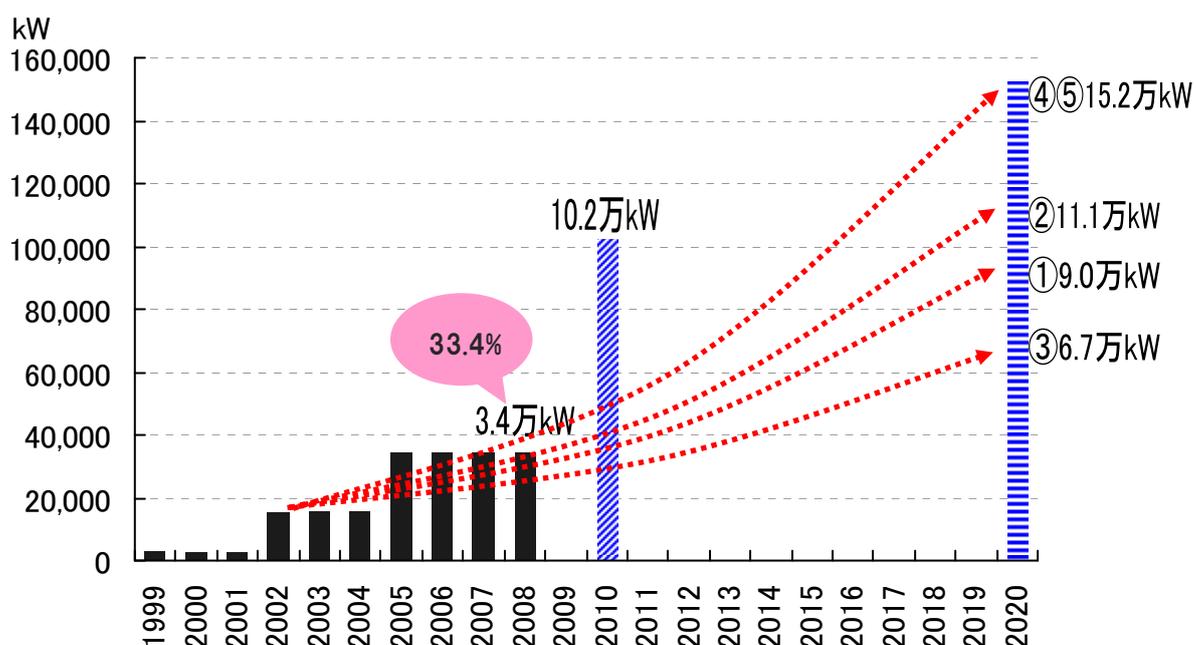


図.1 風力発電の目標設定

3 高効率給湯器（ヒートポンプ式給湯器・エコキュート）の推計

(1) 本県における導入実績による推計

① 現時点の導入実績

現行ビジョンでは、高効率給湯器（ヒートポンプ式）に関する目標設定はない。

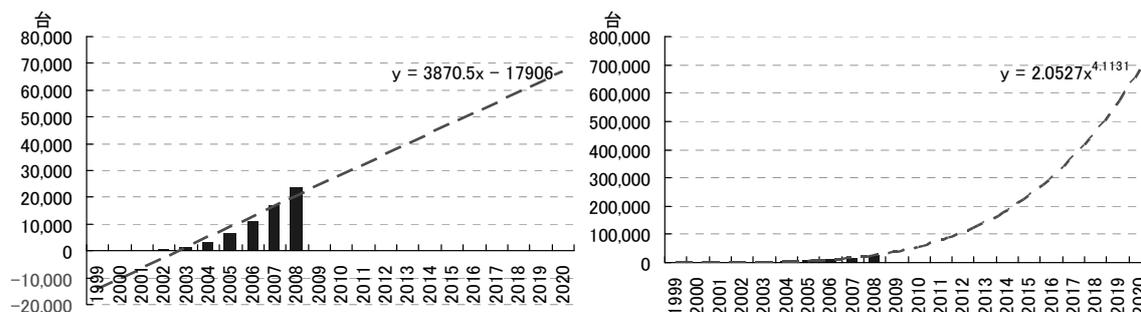
高効率給湯器（ヒートポンプ式）の全国での導入実績は、2008年度で174万台となっている。（世帯数で三重県に按分すると、2.2万台）

② 一次近似曲線

高効率給湯器（ヒートポンプ式）について、県内における過去の導入実績（按分値）から、2020年度時点の導入量を一次近似曲線によって推計すると**6.7万台**となる。

③ 累乗近似曲線

高効率給湯器（ヒートポンプ式）について、県内における過去の導入実績（按分値）から、2020年度時点の導入量を累乗近似曲線によって推計すると**68万台**となる。



(2) 国の目標値の考え方に基づく推計

① 長期エネルギー需給の見通し（再計算）H21.8

「長期エネルギー需給の見通し（再計算）H21.8」では、高効率給湯器の導入目標値は、ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型給湯器、燃料電池等の合計で2,800万台とされているが、内訳が示されていないためここでは推計していない。

② 中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算（再計算）

「中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算（再計算）（国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム）H22.8」によると、2020年に1990年「国内マイナス25%」を実現する高効率給湯器（ヒートポンプ式）の導入目標値として、2020年に国全体で1,400万台となっている。（環境大臣試案 H22.3 から推計値が見直されている。）これを世帯数で三重県に按分すると、**18.0万台**となる。

一方、2020年に1990年比「国内マイナス15%」を実現する高効率給湯器（ヒートポンプ式）の導入目標値として、2020年に国全体で1,100万台となっている。これを世帯数で三重県に按分すると、**14.2万台**となる。

	国の目標値	按分指標	按分比率	三重県
▲25%	1,400万台	世帯数	1.29%	18.0万台
▲15%	1,100万台	世帯数	1.29%	14.2万台

国		県	
世帯数	5,357万	69.02万	2020年度

(3) まとめ

目標設定の推計方法	推計値
①導入実績(一次近似曲線)	6.7万台
②導入実績(累乗近似曲線)	68万台
③長期エネルギー需給の見通し(再計算)H21.8	—
④中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算(再計算)(国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム)H22.8【国内▲15%】	14.2万台
⑤中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算(再計算)(国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム)H22.8【国内▲25%】	18.0万台

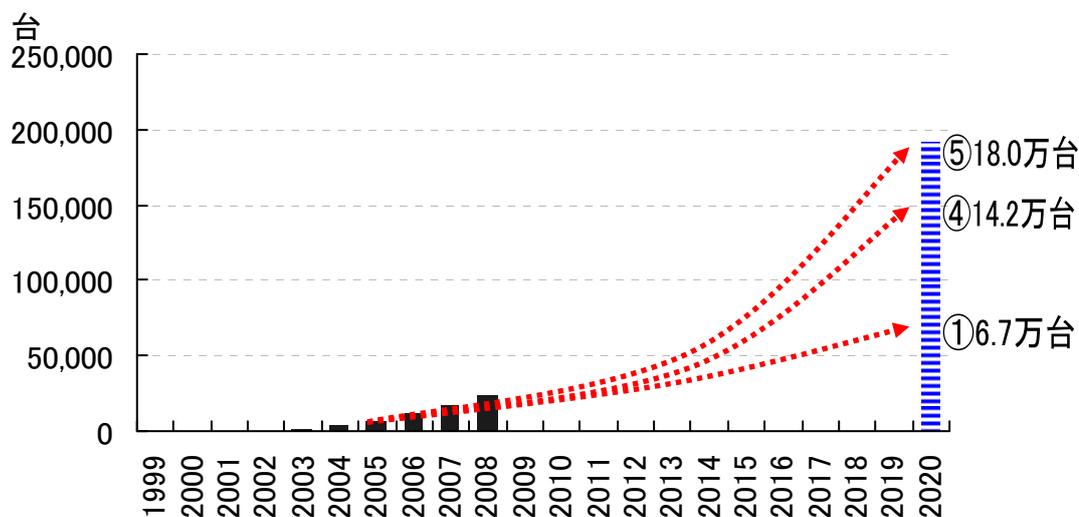


図.2 高効率給湯器(ヒートポンプ式)の目標設定

4 高効率給湯器（潜熱回収型給湯器・エコジョーズ）の推計

（1） 本県における導入実績による推計

① 現時点の導入実績

現行ビジョンでは、高効率給湯器（潜熱回収型）に関する目標設定はない。

高効率給湯器（潜熱回収型）の全国での導入実績は、2008年度で116万台となっている。

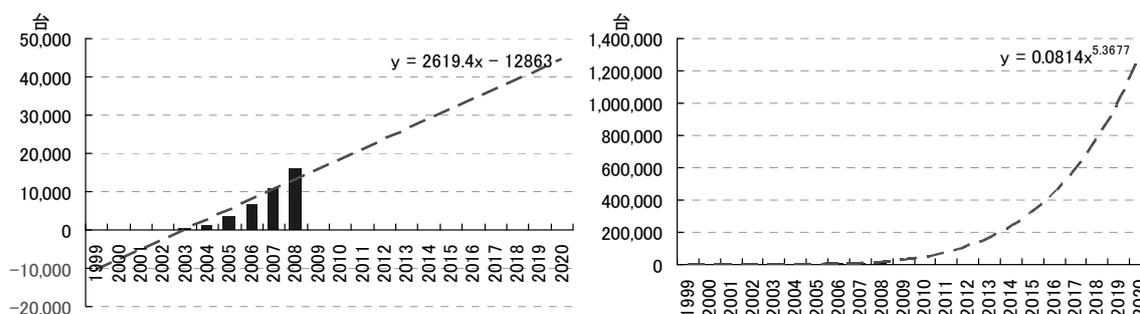
（世帯数で三重県に按分すると、1.5万台）

② 一次近似曲線

高効率給湯器（潜熱回収型）について、県内における過去の導入実績（按分値）から、2020年度時点の導入量を一次近似曲線によって推計すると**4.5万台**となる。

③ 累乗近似曲線

高効率給湯器（潜熱回収型）について、県内における過去の導入実績（按分値）から、2020年度時点の導入量を累乗近似曲線によって推計すると**131万台**となる。



（2） 国の目標値の考え方に基づく推計

① 長期エネルギー需給の見通し（再計算）H21.8

「長期エネルギー需給の見通し（再計算）H21.8」では、高効率給湯器の導入目標値は、ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型給湯器、燃料電池等の合計で2,800万台とされているが、内訳が示されていないためここでは推計していない。

② 中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算（再計算）

「中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算（再計算）（国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム）H22.8」によると、2020年に1990年比「国内マイナス25%」を実現する高効率給湯器（潜熱回収型）の導入目標値として、2020年に国全体で2,290万台となっている。（環境大臣試案 H22.3 から推計値が見直されている。）これを世帯数で三重県に按分すると、**29.5万台**となる。

一方、2020年に1990年比「国内マイナス15%」を実現する高効率給湯器（潜熱回収型）の導入目標値として、2020年に国全体で1,700万台となっている。これを世帯数で三重県に按分すると、**21.9万台**となる。

	国の目標値	按分指標	按分比率	三重県
▲25%	2,290 万台	世帯数	1.29%	29.5 万台
▲15%	1,700 万台	世帯数	1.29%	21.9 万台

国		県	
世帯数	5,357 万	69.02 万	2020 年度

(3) まとめ

目標設定の推計方法	推計値
①導入実績(一次近似曲線)	4.5 万台
②導入実績(累乗近似曲線)	131 万台
③長期エネルギー需給の見通し(再計算)H21.8	—
④中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算(再計算)(国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム)H22.8【国内▲15%】	21.9 万台
⑤中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算(再計算)(国立環境研究所 AIM プロジェクトチーム)H22.8【国内▲25%】	29.5 万台

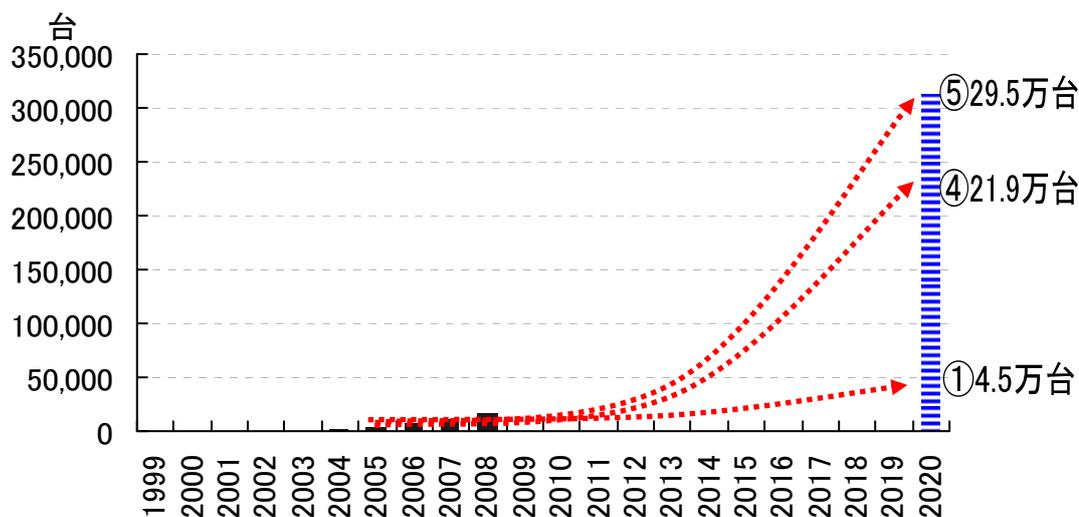


図.3 高効率給湯器(潜熱回収型)の目標設定